

1. 件 名：
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構大洗研究所の訓練実施結果報告書（案）
の概要説明について
2. 日 時：
令和3年1月19日（火）10時00分～12時00分
3. 場 所：
茨城県原子力オフサイトセンター 原子力防災専門官事務室
4. 出席者：
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所
関谷原子力防災専門官、宮下上席放射線防災専門官
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構大洗研究所（以下「大洗研」という）
技術副主幹（2名）、他1名
5. 要 旨
大洗研より、令和2年11月10日（火）午後に実施された総合防災訓練の訓練実施結果報告書（案）の説明を受けた。
訓練は、地震の発生を起因として、HTTR及びFMFの2施設において施設敷地緊急事態及び全面緊急事態に進展する原子力災害を想定し、これに対する実効的な対応能力の向上を目的として実施された。
昨年の総合防災訓練での反省事項に関して、有効な改善策を案出し事前に教育や個別訓練を行なった。本年度の総合防災訓練においては、防災組織が有効に機能し円滑に活動が行われたことが確認された。
特に、機構本部（原子力施設事態即応センター）の統括者は、情報収集に関する指示を適切に行うとともに、TV会議システムを使用してERCへ情報を伝える発話担当者に、適時適切な報告するように指示ができていた。
大洗研究所（現地対策本部）では、施設およびEALの識別を確実にして現場との情報共有や機構本部への報告がなされていた。
原子力規制庁からは、結果の報告の順序を総合的な評価、次いで今年度の達成目標への評価、最後に細部の評価の順で記載すれば分かり易くなる旨を助言した。
6. その他
配付資料なし